令和７年度
大分市民意識調査
報告書

令和８年３月

大　分　市

はじめに

我が国の人口減少が進行する中、2024（令和６）年の合計特殊出生率は 1.15 と過去最低を更新し、働き手の中心となる生産年齢人口も減少しています。本市においても、人口は 2016（平成 28）年をピークに減少へと転じ、地域コミュニティの衰退や経済活動の縮小など、都市の活力低下を招く看過できない問題への対応を迫られています。

こうした中、2025（令和７）年に新たな大分市総合計画「未来へつなぐ おおいたビジョン 2034」を策定しました。本計画は、次の時代に向けたまちづくりの指針として、すべての市民が身体的、精神的、そして社会的にも満たされたウェルビーイングな社会「誰もが〝幸せ〟を実感できるまち ＯＩＴＡ」を目指すまちの姿(都市像)として掲げております。

その実現に向けては、市民ニーズを的確に把握し、総合計画に掲げる施策の優先度を見極め、限られた財源を振り分けながら推進していくことが重要です。

このようなことから、市民の市政に対する考え方や貴重なご意見を頂き、今後の施策に反映させるため、令和７年度大分市民意識調査を実施しました。

本調査の結果につきましては、市民の貴重なご意見として市政運営のために有効に活用してまいりたいと考えております。

調査に当たりまして、ご協力いただきました多くの市民の皆様方に改めてお礼申し上げますとともに、今後とも本市のまちづくりへのご参画、ご協力をお願い申し上げます。

令和８年３月

～目　次～

Ⅰ.　調査の概要 …… 1
１．　調査の目的 …… 1
２．　調査の項目 …… 1
３．　調査の方法等 …… 1
４．　回収状況 …… 1
５．　過去の調査状況 …… 2
６．　調査結果の処理 …… 2
Ⅱ.　集計結果の分析 …… 3
１．　大分市全体について …… 3
（１）　定住意向 …… 3
（２）　住み続けたい理由 …… 4
（３）　転出したい理由 …… 5
２．　大分市総合計画 41 施策の取組に対する「重要度」と「満足度」 …… 6
（１）　重要度 …… 7
（２）　満足度 …… 10
（３）　重要度と満足度による分析 …… 13
３．　年齢別施策別取組の「重要度」および「満足度」について …… 16
（１）　こども・子育て支援の充実 …… 16
（２）　安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実 …… 17
（３）　交通体系の確立 …… 18
４．　大分市総合計画に関する質問について …… 19
（１）　目指すまちの姿（都市像：誰もが“幸せ”を実感できるまち OITA）について …… 19
（２）　こども・子育て支援について …… 21
（３）　社会教育と生涯学習について …… 23
（４）　スポーツについて …… 25
（５）　文化・芸術について …… 27
（６）　国際化について …… 30
（７）　地域コミュニティについて …… 32
（８）　高齢者福祉・介護保険について …… 33
（９）　地域医療体制について …… 35
（１０）　生活環境について …… 36
（１１）　防災・減災・危機管理体制について …… 38
（１２）　流域全体の関係者で行う災害対策等について …… 39
（１３）　行政窓口・行政手続について …… 40
（１４）　公害の未然防止と環境保全について …… 41
（１５）　豊かな自然について …… 42

（１６） 商工業・サービス業について ····· 43
（１７） 流通拠点について ····· 44
（１８） 計画的な市街地の形成について ····· 46
（１９） 自転車の活用について ····· 47
（２０） 公園・緑地の保全と活用について ····· 48
５． 大分市が行っている業務や個別の事業について ····· 49
（１） 若者が活躍しやすいまちについて ····· 49
（２） 消防団について ····· 50
III. 参考資料 ····· 53
１． 属性別 重要度および満足度スコア ····· 53
２． 令和７年度大分市民意識調査 調査票 ····· 61

I. 調査の概要

１．調査の目的

本調査は、市政に対する市民の皆さまの率直なご意見をお聴かせいただき、今後の大分市のよりよいまちづくりの参考資料として活用することを目的として実施しました。

２．調査の項目

- 回答者の属性
- 大分市への居住意向
- 大分市総合計画施策の取組に対する重要度と満足度
- 大分市が行っている業務や個別の事業に関する質問

３．調査の方法等

調査地域	市内全域
調査対象	住民基本台帳に記載された市内在住の18歳以上の市民
対象者数	4,500人
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送による調査票の配布
回答方法	郵送による調査票の回収またはインターネット（無記名回答）
調査期間	令和７年11月4日（火）～11月28日（金）

４．回収状況

発送数	有効回収数	不明戻数等	有効回収率(※)
4,500	1,925	2	42.8%

※有効回収率　回答総数÷（発送数－不明戻数等）

(件)		有効回収数	郵送回収数	ＷＥＢ回収数
全　体		1,925	756	1,169
年齢別	18・19歳	47	0	47
	20歳代	244	0	244
	30歳代	245	0	245
	40歳代	314	2	312
	50歳代	331	138	193
	60歳代	275	189	86
	70歳以上	460	418	42
	年齢不明	9	9	0

５．過去の調査状況

	平成 30年度	令和 元年度	令和 ２年度	令和 ３年度	令和 ４年度	令和 ５年度	令和 ６年度
発送数	4,000	4,000	3,500	3,500	3,500	3,500	4,500
回収総数	1,582	1,315	1,242	1,326	1,296	1,282	1,267
有効 回答率	39.7%	33.2%	35.7%	38.2%	37.4%	36.9%	28.3%

６．調査結果の処理

○ 回答比率は、小数第２位を四捨五入し表示していますので、合計は必ずしも 100%にならないことがあります。

○ ２つ以上の回答を求めた（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は原則として 100%を超えます。

○ 図に表示された「N」は標本全数、「ｎ」は該当数を示しています。属性別では属性無回答を除いていますので、全体の回答者数と異なることがあります。

○ 単数回答質問において２つ以上の回答をしている対象者については、当該質問において対象者から除いて（無効票扱い）集計を行っています。

○ 本文中の重要度および満足度の平均スコアは、下記の式によって算出し、小数第３位を四捨五入した数値です。

$$\text{重要度平均スコア} = \frac{\{\ (\text{重要})\times 5 + (\text{普通})\times 3 + (\text{重要でない})\times 0\ \}}{\{\ \text{回答総数} - \text{無回答}\ \}}$$

$$\text{満足度平均スコア} = \frac{\{\ (\text{満足})\times 5 + (\text{普通})\times 3 + (\text{不満})\times 0\ \}}{\{\ \text{回答総数} - \text{無回答}\ \}}$$